



Graduation 卒業

3月4日、華やかな姿が医学部記念講堂の周りを埋め尽くした。この日、265名の医学部生が卒業した。

先輩から、学生生活の様々な場面でたくさんの方の事を学んだ後輩たちは、花束を抱え、卒業式会場の外で式の終了を待ちわびていた。そして、先輩の姿を見つけては、お祝いの言葉、お別れの言葉を贈った。

先輩と後輩の“つながり”、その伝統がまた来年、先輩から後輩へと受け継がれていく…。

そして、卒業生は、教職員とたくさんの後輩たちに見送られ、医療の道へ新たな一歩を踏み出した。卒業生それぞれが“学び”を“実践”へと変え、様々な形で社会で活躍してくれることを期待したい。

◆医学科 / 106名 ◆生命科学科 / 41名 ◆保健学科(看護学専攻) / 79名 保健学科(検査技術科学専攻) / 39名 計 265名

米子水鳥公園

米子市中心街を抜け、米子空港へ向かう途中、山陰屈指の野鳥の生息地である米子水鳥公園が左手にある。

ここのシンボルはコハクチョウ。毎年10月に北極圏から飛来し、3月まで見ることができる。例えるならば、水鳥公園はコハクチョウの家である。早朝に水鳥公園を飛び立ったコハクチョウは、昼間は安来の田んぼで落ち穂を食べて過ごし、夕方になると水鳥公園に舞い降り、眠りにつく。最も多い時で、およそ1,000羽が集まることもある。

水鳥公園では、コハクチョウだけではなく、一年を通じて湿地に住む四季折々の生きものが観察でき、小学生の親子向けの自然観察イベントが毎月開催されている。



3月はコハクチョウとのお別れの季節。北へ旅立つ光景を見送りつつ、10月に再会できる時を楽しみに待とう！



写真提供/米子水鳥公園



2月中旬、米子水鳥公園に行ってみた。
コハクチョウと鴨が仲良く遊んでいるような姿が微笑ましい。

医学部での研究！

保健学科 成人・老人看護学講座

屋根瓦式教育の学習効果

—学生の学習意欲と自信を高めるために—

成人・老人看護学講座では、平成25年から、3年生を対象に屋根瓦式教育による実習前演習を実施している。この取組みは、臨地実習に向け、実習で体験する可能性のある看護技術について事前に練習を行い、自信を高めて実習に臨むことを目指している。

この3年生の学びを「支援」してくれるのは先輩の4年生。4年生は、自分達が経験した実習体験で感じたことも併せて3年生へと伝えることで、知識・技術の再確認ができ、4年生自身も国家試験の勉強へとつながる。

当分野の教員は、この教育方法の効果を定量的に捉えるための教育的研究に取り組み、学生の満足感、学習意欲、自己効力感の向上に寄与することを示した。

※屋根瓦式教育…少しずつ重なりあうことで強度を増す屋根瓦のようにつながりを厚くし、「教え」「教えられる」ことを通して、互いに成長できる。



救える命を救う ヘリポート



平成26年7月、本院敷地内にヘリポートが設置されたことにより、以前は米子港に着陸後、救急車で本院まで搬送にかかっていた10分間が短縮された。

平成29年度には、本院にドクターヘリの導入が決まっている。これによって、ドクターヘリの利用率が上がり、今まで以上に救える命が救われる。

国家試験に挑む！

毎年、2月初旬から下旬にかけて、厚生労働省 医師国家試験、看護師国家試験、臨床検査技師国家試験、助産師国家試験が実施されている。

2月4日、この大きな関門をくぐる学生を応援しようと米子キャンパス記念講堂にて、後輩たちによる医学科国家試験壮行会を開催した。

医学科6年生は、医学部長、6年生担当教員からの温かいメッセージをもらった後、円陣を組んで、気持ちを高めた。

壮行会終了後、会場（広島市）へ出発するバスの周りで、後輩たちが「先輩、頑張って下さい！！」とエールを送った。6年生が医師国家試験を受験するにあたり、後輩たちによって構成される国試対策委員がある。その中から、4年生5人、5年生5人がバスに同行した。後輩たちは、先輩がベストコンディションで試験に臨めるようバスの手配、宿泊の手配など、様々な面でサポートし、先輩後輩が一緒になって国家試験に挑んだ。



日を同じくして、看護学専攻の国家試験壮行会を講義室で開催した。

ここでは、看護学専攻の教員が揃い、講座ごとに教員がパフォーマンスによる応援があった。最後に、みんなで「エイエイオー！」と気合を入れて国家試験へと挑んだ。

生協食堂



チキンオーバーライス

昨年12月にリニューアル後、生協食堂は、以前よりも多くの学生達でにぎわっている。

学生達が飽きが来ないよう毎月、メニューを変えて提供している。左の写真は、3月人気商品。

……… 編集後記 ………

出会った当時、医学科4年生だった学生が卒業した。何事に対しても一生懸命で、“医師”になる思いが人一倍熱かった。素敵な医師となって再会できることを楽しみにしたい。

発行/鳥取大学医学部総務課広報係
〒683-8503 鳥取県米子市西町86
TEL: 0859-38-7037
FAX: 0859-38-7029
E-Mail: me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp